

# スリーエム仙台市科学館

## 事業概要

(平成 27 年度版)

平成 26 年度特別展 7 月 19 日(土)~8 月 24 日(日) 33 日間  
 「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム in 仙台  
 恐竜大研究 - ティラノサウルス類の進化 -」



▲白亜紀のティラノサウルス成体の骨格標本



▲エントランス展示「ユティランヌス復元成体模型」



▲体験展示「恐竜研究ラボ」



▲関連イベント「3D 恐竜めり絵をしてみよう！」



▲科学館学習

平成 26 年度新規授業：生物

「アサリのくらしとからだのしくみ」

▶アサリの水の浄化や消化管のつくりについて実験や解剖実習等で調べていく。



▲新展示「人力飛行機」

東北大学 Windnauts との連携展示

▶2011, 2012 年鳥人間コンテスト優勝機体の復元機や機体のつくり等を展示。

(平成 26 年 11 月 29 日開展)



▲新展示「仙台高専生が取り組んだ競技ロボット」

仙台高等専門学校との連携展示

▶2011 年ロボコンで優勝した競技ロボット「OR」が可動する体験型展示。

(平成 26 年 4 月 8 日開展)



▲新展示「再帰性反射の原理模型」

スリーエムジャパン(株)との連携展示

▶探査衛星はやぶさで使用されたターゲットマーカの原理を展示。

(平成 26 年 8 月 5 日開展)



## 館の基本理念

仙台市科学館はこれまで、学校教育と積極的に連携を図りながら、東北の中核都市にふさわしい科学系博物館を目指し機能の強化に努めてきた。今後とも、創造性を培うための研修の場・学習の場・憩いの場として市民の多様なニーズに応えられるよう次に掲げる機能の充実に努め、高度な機能を備えた総合的かつ、開かれた科学館をめざす。

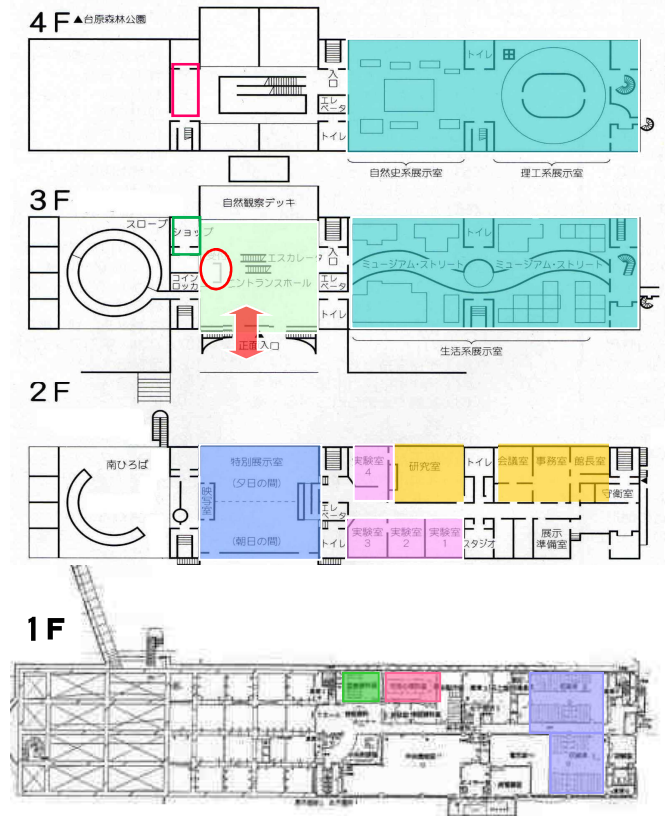
- (1) 理工系・自然史系・生活系を中心とし、博物館としての機能を充実させた科学館
- (2) 参加体験型の展示を通して科学の原理法則にふれることができ、創造力をよび起こすことのできる科学館
- (3) 郷土の自然の大切さを知り、環境を保全することの重要性を学ぶことのできる科学館
- (4) 児童生徒への効果的な理科教育を実践し、教育現場からの支援の要請にも的確に応えられる科学館
- (5) 幼児から高齢者までの生涯にわたる科学の学習を支援し広く市民に学ぶ機会を提供できる科学館

## 沿革

昭和27年6月	中学生の理科実験教育を行うためサイエンスルームを開設
昭和43年5月	展示室を併設した初代科学館開館(実験室2, 展示室1)
平成 2年9月	博物館登録(26日)
〃	現在の科学館開館(27日)
平成 8年7月	科学館学習-4分野選択制導入
平成 9年6月	科学館友の会発足
平成11年5月	サイエンス・インタープリター制度導入
平成13年3月	展示リニューアル事業終了(全体の5分の1~4分の1相当)
平成16年4月	ノーベル化学賞受賞記念展示「レーザーによるソフトイオン化法」
平成17年1月	「西澤メダル(レプリカ)」公開
平成21年2月	(財)斎藤報恩会寄贈展示物等公開「アフリカ象雌」「ナウマン象」等
平成23年3月	東日本大震災(3月11日)復興プロジェクト「るねっ・サイエンス」事業展示室一部再開。
7月	特別展「トリックアートと3D感覚展」史上最高の入館者数:59,900人)
11月	科学館基本理念・基本方針の改訂
平成24年4月	展示室全面再開
平成25年6月	ネーミングライツ導入により施設愛称を「スリーエム仙台市科学館」に変更
11月	新展示「ATGCナノの旅」
平成26年3月	新展示「被災ミュージアムの再興に向けて」
4月	新展示「仙台高専生が取り組んだ競技ロボット」
8月	新展示「再帰性反射の原理模型」
11月	新展示「人力飛行機」

## 施設概要

- 敷地面積 16,144㎡
- 建物 構造 鉄筋鉄骨コンクリート造り地上5階建  
建築面積 5,375㎡ 延床面積 12,208㎡
- 4階 自然史・理工系展示室, レストラン
- 3階 生活系展示室, 出入口, エントランスホール, 総合案内, 自然観察デッキ, 売店
- 2階 特別展示室, 実験室, 館長室, 事務諸室
- 1階 市民の理科室, 図書資料室, 収蔵庫
- 屋外 岩石園
- 特徴 自然環境との調和・充実した実験設備  
構造物のスケルトン化, 熱線防止ガラス



## 運営

- 組織
  - 館長 1名
  - 参事兼副館長兼事業係長 1名
  - 庶務係 6名
  - 事業係 15名(含兼務2名)
  - 内訳
    - 【正職員】行政職5名 教職員(指導主事)8名(兼務2)
    - 【嘱託】社会教育指導員5名 理科学習指導員1名 専門員1名 庶務嘱託・臨時嘱託職員2名
    - 【臨時的任用職員】1名
- 委託
  - 受付案内, 展示物保守, 設備保守, 内部清掃, 外部清掃, 警備

- サイエンス・インタープリター(科学館ボランティア)  
登録ボランティア 69名(平成26年度)  
展示解説, チャレンジ・ラボ運営, ガイドツアー,  
展示物修理, 自主的な研修活動
- テナント レストラン, 売店

## 事業概要

### ■学芸事業

#### ●展示

常設展示 展示点数・・・約 3,700 点

自然史系(自然への入り口, ふるさとの自然,  
古象の太行進 → 日本一の象展示)

理工系(科学への入り口, 化学のふしぎな世界,  
仙台の発明宝箱 ほか)

生活系(環境アトリエ, 生活の科学, 趣味と遊びの  
科学, チャレンジ・ラボ ほか)

チャレンジ・ラボ(毎日), ガイドツアー(土, 日, 祝)

特別展 『体感! スポーツ研究室-アタマとからだで運  
動をときあかせ!』

開展式 7月18日(土), 7/18(土)~8/23(日)33日間

#### 小企画展

一生活系展示室, エントランスホール等一

パソコンのあゆみ	4/14(火)~ 6/14(日)
自由研究 How to 展	7/4(土)~ 8/30(日)
昆虫関連展示	10/23(金)~11/25(水)
鯨関連展示	10/23(金)~12/20(日)

#### ●調査研究

東日本大震災関連調査

科学館学習実験教材開発 ほか

#### ●科学相談(問い合わせへの対応)

### ■学校教育

#### 科学館学習

中学2年生を対象とした実験学習(市内74校+8分教室)  
平成27年度参加予定生徒約9,700人  
(平成26年度実績9,807人)

物理:「電気を作る・送る」-発電所からコンセントまで-  
生物:「アサリのくらしとからだのしくみ」

地学:「風はなぜ吹くの」(新規)

化学:「pHとイオン」-酸性の強さは何で決まるの?-

第62回市児童生徒理科作品展 10/10(土)~18(日)

自由研究の進め方を学ぼう! 6/27(土), 28(日)

教員の研修小学校理科支援サポート, 教育センター研修等  
学校, 大学への支援 博物館実習, 自分作り教育,  
環境学習の学校支援, 科学館展示物活用授業

宮城教育大学環境教育実践研究センター授業 他

### ■社会教育事業

自然観察会, 科学工作教室, ロボット教室,  
楽しい化学実験室, 化石鑑定会, 昆虫相談会,  
大人の科学教室, インタープリター研修,  
友の会研修会支援

### ■連携事業

#### 共催事業

知能ロボットフェスティバル 6/14(土)~15(日)  
きのこ展 9/27(土)~28(日)

#### 大学・学会・専門機関・NPO・企業との連携

トライサイエンス実験教室 5/2(土)

測量の日ミニフェスタ 6/6(土)~7(日)

Scienceday2015 7月下旬

親子のためのロケット教室 8/30(日)

中央市民センター青葉チャレンジキッズ

わくわくとときめきマイクロ実験教室

宮城県被災文化財等保全連絡会議 他

#### 博物館との連携

SMMA 連携事業(ミュージアムユニバース等)12月下旬

### ■情報ネットワーク・広報

ホームページ <http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp>

#### コンテンツ

お天気アイ, 自然史図鑑・化学薬品データベース  
科学館年報 科学館だより「道無限」 研究報 他

### ■その他

仙台市行財政改革プラン2010実施に向けて

## 科学館協議会

### ■目的

科学館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに,  
館長に対し意見を述べる。

### ■根拠法令等

博物館法, 仙台市科学館設置条例

### ■委員

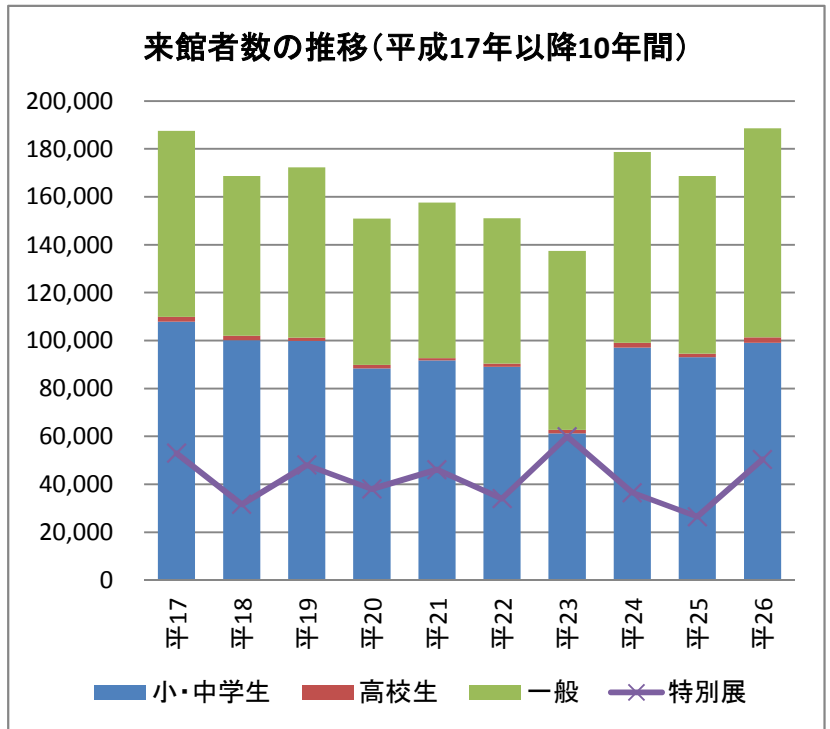
学識経験者, 学校教育・社会教育関係者 11名

### ■回数 4回/年(予定)

利用状況（平成26年度実績）

■開館以降の年間入館者数（人）

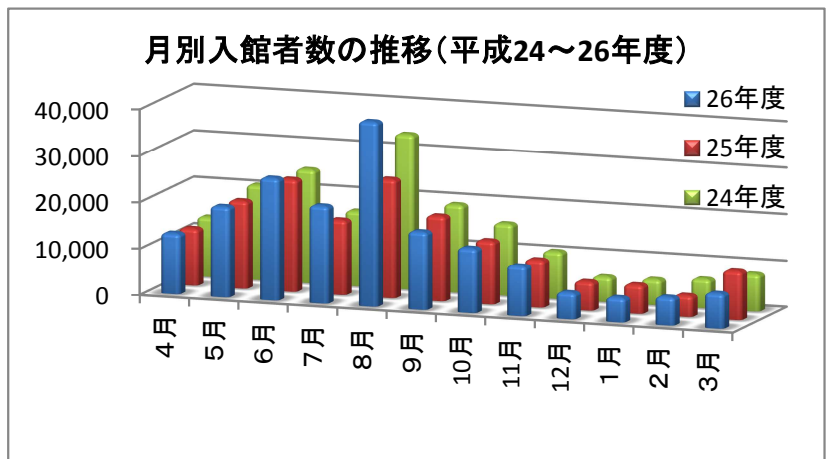
年度	入館者数	年度	入館者数
平成2 <sup>※1</sup>	169,602	15	189,614
3	255,099	16	169,303
4	234,826	17	187,490
5	231,610	18	168,635
6	208,437	19	172,227
7	200,399	20 <sup>※2</sup>	150,929
8	184,558	21 <sup>※2</sup>	157,640
9	187,614	22 <sup>※3</sup>	151,041
10	189,029	23 <sup>※4</sup>	137,446
11	193,307	24	178,690
12	173,976	25	168,665
13	169,757	26	188,518
14	204,729	合計	4,623,141



注 ※1…9月オープン ※2…11～1月空調工事のため臨時休館 ※3…3月は震災のため臨時休館  
 ※4…4月～6月は震災被害のため臨時休館, 12月～3月は耐震補強工事のため3階展示室を臨時休館

■平成26年度 月別入館者数（人）

月	入館者数	月	入館者数
4	13,256	10	14,090
5	19,680	11	10,927
6	26,438	12	5,805
7	21,153	1	5,407
8	40,933	2	6,205
9	16,957	3	7,667



■科学館学習受講者 合計 9,324 人（その他引率者 713 人）

■イベント等参加者（科学館学習を除く）合計 124,568 人

○学校教育関係（児童生徒理科作品展, 自由研究の進め方を学ぼう, 科学館展示物活用授業, 博物館実習, 環境学習支援, インターンシップ・自分づくり教育, 総合学習, 教育センター連携教員研修 ほか） 5,733 人

○チャレンジ・ラボ（やってみよう実験） 45,504 人, ガイドツアー 1,588 人

○特別展（恐竜大研究） 50,425 人, 関連イベント 396 人

○震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム「アロサウルスがやってきた」 9,110 人（H26.4以降）

○人力飛行機復元作業の公開（H26.4以降） 1,705 人, 「人力飛行機」开展関連イベント 103 人

○その他の社会教育事業（自然観察会, 化学実験教室等）及び連携事業 10,004 人

■科学相談件数（平成26年度）

物理	化学	生物	地学	その他	合計
56	35	70	89	37	287